

**DATA：心臓血管外科**

- 心臓血管外科専門医認定修練基幹施設、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- 主な対象疾患：【虚血性心疾患】冠動脈バイパス術、虚血性心筋症に対する左室形成術、心筋梗塞機械的合併症に対する外科手術など【心臓弁膜症】弁形成術、人工弁置換術、心房細動手術など【大動脈疾患】急性大動脈解離に対する人工血管置換術、胸部大動脈瘤手術、胸部大動脈ステント治療など【その他】ペースメーカー植込み術、成人先天性心疾患手術、心臓腫瘍、慢性心膜炎など

## 専門医、指導医が揃う

当科は2005年4月に開設。その設立と同じくして「心臓病センター」を、循環器内科と共同して開設しました。今年で12年目となる両部門では、常に最新の循環器医療を提供しています。

当科は心臓血管外科専門医認定修練基幹施設、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設に認定されています。現在、常勤医は3名。うち2名は心臓血管外科専門医、修練指導者の両資格を持っています。これに体外循環技術認定士2名を加え、緊急手術も含めたあらゆる症状に対応できる体制をとっています。



## より負担の無い手術を目指して

2017年より新たなスタッフを迎え、今まで以上に優れた治療を求めた取り組みを始めています。そのキーワードは低侵襲手術です。心臓手術においては、従来の正中切開によって大きく開胸して行う手術から、小さな切開で行う手術を積極的に取り入れていこうとしています。比較的若い世代や合

# 多角的判断で、必要な治療を

併症のない患者様などに応用していこうと考えています。大動脈瘤に対しては開胸による手術に加え、ステントグラフト内挿術を積極的に進めています。従来の術式では、大きく開胸して人工心肺を用いることもありましたが、この術式では大腿のつけねに切開を入れるだけで治療が可能です。そのため非常に低侵襲で、翌日から歩くことも可能で患者様には大きなメリットとなります。ただし、大動脈瘤の位置によって適応できない場合があります。一方、以前では不可能だった大動脈瘤の治療がステントグラフト内挿術で可能になっている例もあります。弓部大動脈部には脳などに向かう血管の分岐があるため、ここにステントグラフトを留置すると血流を遮断してしまいます。そこでこの分岐する血管にバイパスを先に作って血流を確保したうえでステントグラフトを留置するなどの工夫をします。このような最新の技術も当科では積極的に取り入れ、今まで以上に低侵襲治療を増やしていきたいと考えています。

## 患者様に合わせた総合的な判断を

今日では多種多様な手術が開発され、患者様の選択肢は広がっています。こうしたなかで重要な



# 逆紹介の多さは、地域とのきずなの深さ

心臓血管外科

は、その患者様にとって最適な治療を選択する医師の判断力です。その治療方針の選択は、あらゆる患者様の情報を総合的に判断したうえでなされるべきです。その点での当科の強みは、循環器内科との連携のよさといえるでしょう。週1回の合同カンファレンスでは、すべての患者様の治療方針を両科で検討し、決定しています。そのため治療方針が偏らずバランスのよい決定を下すことができます。

また、外科手術が適応になった場合においても、開胸手術を専門とする医師が大動脈の血管内治療の専門資格も持っているため、適切な判断ができます。

さらに、最新の低侵襲治療である経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI: カテーテルを用いて生体弁を大動脈弁位に固定する術式) が適応になった場合は、当院連携施設でもある慶應義塾大学 TAVI チームと当科、当院循環器内科で検討し、最善の選択をしています。日本を代表する TAVI 実施施設との連携は大きな力となるでしょう。このように当科には、患者様にとって最も正しい治療を選択する体制が内外ともに構築されています。

## 患者様紹介について

市川市は今後、高齢者率が急速に高まる地域といわれています。高齢化によって複数疾患を持つ循環器疾患患者も増加してくると思われます。したがって、地域の先生方との連携は欠かせません。日常の治療はかかりつけ医の先生方に担っていただき、手術やさらなる加療が必要となったときには私どもにご紹介いただくという診療体制が、患者様にとって安心で最良であると考えます。

地域のみなさまに最先端の心臓血管医療を提供していきたいと考えていますので、気になる症例がございましたらお気軽にご紹介ください。

## information

### 市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程: 平成30年1月15日(月)
- ❖ 時間: 19:30~21:00
- ❖ 場所: 東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室

● 心臓・大動脈外科の標準治療 笠原 啓史

狭心症、大動脈解離、大動脈破裂などの専門施設へ緊急搬送を必要とする疾患を概説します。また、最近の治療方法や手術所見などを供覧します。

みなさまのご参加、お待ちしております。



講師  
笠原 啓史

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「患者支援センター」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日:午前9時～午後5時 土曜日:午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)